

大泉

それぞれの持ち味

副校長 尾崎 承子

上校庭に立ち、耳を澄ますと、「ポッポッポー」という緩やかな鳴き声の中に、「クーク ググググー」という歯切れのよい鳩たちの鳴き声が聞こえてきます。

その鳴き声の重なりや、共に餌をついばむ姿を見ていると、仲間とまとまって過ごしている土鳩（ポッポッポー）と、警戒心の強い山鳩（クーク ググググー）が、それぞれの役割を果たしているように見えます。

四月にもお知らせしました通り、本校は、東京都のモデル事業として、今年度から二年間は二人副校長制となります。先任の武井副校長と、それぞれの持ち味を生かしながら、風通し良く力を合わせて参ります。何かありましたら、安心してどちらへでもお話をください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、目を校内に移すと、副校長だけでなく、様々なところで、それぞれの持ち味が生かされているように思えます。本校には、通常の学級、五組、ことばの教室、いずみ学級、事務室、主事室、給食室があり、職員たちは、それぞれの得意とする場で力を発揮しています。

さらに、目を各学級に移すと、その中には、自分の持ち味を生かしている児童

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



を見ることが出来ます。それぞれが、力を発揮できる場を見つけ努力しています。しかし、時には自分の持ち味が分からなくなり、自分を大切に思えないことも成長の過程としてあります。友達と自分を比較し、「どうせ ぼくなんか…」そんな言葉を口にしたたり、自信を失い学習や活動に取り組めなくなったりもします。そのような時、私たちは児童に寄り添い、「持ち味」を知らせ、その力を発揮できるように導くことに努めています。

すべての児童が、自分も友達も大切に、それぞれの持ち味を生かしていける学校にしていきたいと思っています。

学校評議員の紹介

学校運営について年三回アドバイスを頂きます。宜しくお願いします。

和田 勝 様
内田 光雄 様
小林 厚平 様
川村 櫻子 様
加藤 友泰 様
貫井 武彦 様
坂田 直哉 様

教職員の紹介

二人の教職員が着任しました。
五・六年生と五組児童の英語担当
ALT セレステ マリアノ先生
いずみ学級の通級児童担当
学習支援員 中澤 美鈴先生

5月の行事予定

2日 (月)	あいさつ月間始 安全指導・点検 離任式
3日 (火)	5時間授業 (2・6)
4日 (水)	憲法記念日
5日 (木)	みどりの日
9日 (月)	心臓検診 (1・該当者)
10日 (火)	尿検査・ぎょう虫検査 (予備)
11日 (水)	光が丘ブル (2・4・6・5)
12日 (木)	地域班集会 (地域班下校)
13日 (金)	避難訓練
16日 (月)	歯科検診 (1・2・3)
17日 (火)	委員会活動
18日 (水)	4時間授業 (全)
19日 (木)	聴力検査 (2)
20日 (金)	5時間授業
23日 (月)	視力検査 (1)
24日 (火)	遠足 (1・2)
25日 (水)	内科検診 (5・6)
26日 (木)	わくわくタイム発足
27日 (金)	光が丘ブル (1)
30日 (月)	交通安全教室 (1)
31日 (火)	聴力検査 (3)
	クラブ活動
	移動教室前日検診 (6)
	内科検診 (5)
	尿検査二次
	下田移動教室始 (6)
	聴力検査 (5)
	防犯教室 (2)
	耳鼻科検診 (1・3・5)
	聴力検査 (5)
	個人面談 (5)
	内科検診 (1)
	下田移動教室終 (6)
	5時間授業
	PTA総会
	個人面談
	読書開始
	個人面談
	新体力テスト
	いじめ調査
	遠足 (5)

《5月の生活目標》 「すすんであいさつや 返事をしましょう」

あいさつや返事をしていますか。

学校の生活は「おはようございます。」というあいさつに始まって「さようなら。」というあいさつに終わります。明るく元気なあいさつは相手も自分自身も気持ち元気になります。あいさつはお互いを確認し合い、人と人とのコミュニケーションの中でとても大切な役割を果たします。

また、学校での生活では「ありがとうございます。」や「お願いします。」といった場面も多くあります。何かしてもらったことが当たり前ではなく、相手への感謝の気持ちを忘れず、自然とお礼の言葉が言えるような児童に育ってほしいと考え、指導をしています。

自分からあいさつができる児童がとも増えてきました。立ち止まって目を合わせ、気持ちが伝わってくるあいさつができる児童が見られるようになってきました。一方、まだ恥ずかしくて照れてしまったり、自分からあいさつすることが習慣化していない児童もいます。

学校では元気にあいさつができるように、職員も子供たちに元気よくあいさつをしていきたいと思っています。

大泉小では年間三回あいさつ運動月間を行います。三年生以上の子供たちから、「あいさつ応援隊」を募集し、朝教員と一緒にハイタッチ運動をします。校内に元気なあいさつの声が響くよう、ご家庭でも声かけをお願いいたします。

(平良 五月)

ようこそ大泉小へ！

新しく大泉小へ赴任した教職員です。

☆小平市の小平第十一小学校から異動してきました、益子です。緑豊かで、あちこちに歴史を感じる校舎と元気な挨拶のできる子どもたちがいるすてきな学校に来ることができてうれしく思います。よろしくお願いいたします

(益子茂子)

☆五組担任になりました、山中麻衣です。今年度より教員生活がスタートしましたので、何かとお世話になることが多いと思いますが、元氣いっぱい学校生活を送って参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

(山中麻衣)

☆大泉第二小学校から来ました。元氣いっぱい、明るい大泉小の皆さんと会えるのをとても楽しみにしていました。児童の皆さん、保護者の皆さま、どうぞ宜しくお願いいたします。

(平良五月)

☆満開の桜とほかほか挨拶言葉に迎えられる、心がピンク色に染められてのスタートとなりました。西東京市のことばの教室から、大泉小のことばの教室に着任しました。よろしくお願いいたします。

(森本初江)

☆本年度、学力向上支援講師としてお世話になります。元氣で明るい挨拶が響く三年生から六年生までの子ども達と楽しく学習していきたいと考えています。どうかよろしくお願いいたします。(日高寿成)

☆用務の篠原くみです。児童の皆さんが、安心して気持ちよく学校生活が出来るように、一生懸命お掃除したり、お花を飾ったり、植えたりして、学校の美化に努めたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

(篠原くみ)

☆区内の関町小学校から参りました事務補助員の菊地孝子です。児童の皆さんが楽しく学校生活を送れるように事務室から一生懸命にバックアップに努めたいと存じます。どうぞよろしく願います。

(菊地孝子)

☆心の相談員として大泉小のお仲間に入っていたくことになりました。不安や悩み事の相談だけでなく、皆さんの「ホッとできる場所」として開いていければと思います。どうぞよろしく願います。

(佐藤ちはる)

☆いずみ学級に学校生活支援員として入ることになりました。いろいろな学校から通ってくる子供達も大泉小学校で安心して過ごせるように努めたいと思います。どうぞよろしく願います。

(中澤美鈴)

☆こんにちは！セレステです。私はフィリピンで生まれましたが、家族はアメリカに住んでいます。私は、日本で英語を六年くらい教えています。子供が大好きです。英語の勉強をいっしょに楽しみましょう。

(セレステ マリアノ)

地域班集体会・地域班下校

五月十一日、地域班集体会・地域班下校が行われます。詳細につきましては、保護者の皆様当てに別途プリントをお配りします。ので御覧ください。

子供の安全が脅かされている昨今、地域でのつながりは必要不可欠となっております。心がつながり合い、みんなで守り合える環境を作ることが大切です。

学校では、あいさつを生活指導の最重要課題として取り組んでいます。自分から気持ちの良い挨拶をすることで、守っているからです。挨拶を交わせる間柄になることで、いざという時に守ってもらえる。また、挨拶の飛び交う地域の雰囲気。が犯罪の未然防止につながると考えます。

地域班集体会は、子供と大人が顔見知りになる一つのチャンスです。挨拶にとどまらず、いけないことをしている時には遠慮せずに注意を、よい行いには誉めていただき、また、運動会や展覧会、その他の行事でも応援、声かけをしていただけるような地域が出来るといいなと思っています。

学校の保護者はもちろんですが、学校OBの方、また、おじいちゃんおばあちゃんや暖かい挨拶の出来る地域が理想です。今年度から、地域パトロールも始まるようです。学校の枠を離れ、みんなで意識して素敵な地域を創っていったきたいです。

地域班集体会の際は、地域班で下校します。地域の方も、ちよつと外に出て声をかけていただけると幸いです。

(生活指導主任 坂上龍介)

オリンピック
パラリンピック について

一〇二〇年、東京でオリンピック、パラリンピックが開催されるのは周知のことですが、それに向けて東京都教育委員会では「東京都オリンピック・パラリンピック教育」が実施されます。この教育で育成したい人間像は四つあります。

- 1 自己を肯定し、自らの目標を持って、自らのベストを目指す意欲と態度を備えた人間
- 2 スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人間
- 3 日本人としての自覚と誇りを持ち、自ら学び行動できる国際感覚を備えた人間
- 4 多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献できる人間

本校では、以上四つの力を備えた児童を育成すべく、今後二〇二〇年度までの五年間、段階的に継続的に教育を行っていきます。東京オリンピックが開催される二〇二〇年は、今の第一学年が第五学年を迎える年であり、あと四年です。今回の教育活動の一つの契機として、児童達に学習の経験を通じ、オリンピック・パラリンピックが子供たちにとつてより身近なものになるよう指導して参ります。

また、今年のリオデジャネイロ五輪では、本校の同窓生である伊藤正樹選手、岩渕幸洋選手が出場します。応援をよろしく願います。

(立田 康徳)